

どなたでも自由にとって下さい。



2016年秋・46号

信条・世に媚びず・粋にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行 〒583-0018

大阪府藤井寺市西古室 2-8-13
TEL・FAX 072-954-3312 吉田 進
〒110-0015
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>

E-mail : info@kawaraban.ne.jp



バルセローナ北西60キロのモンセラット（「切られた山」の意）は、幅10キロ、奥行き5キロ最高標高1241mにおよぶ岩山。「魔法の巨人」、「死人の顔」、「ミイラ」などと呼ばれ、その奇岩群に圧倒されてしまう。中腹には、ベネディクト派修道院がある

CONTENTS

2016夏

ポケモン・バカモン・ニセモンだらけ…… 2

歴史人物私談 ③⑨

真田幸村 歴史は後世書き換えられる…… 3

700日世界一周旅行③ パラグアイ

人々がエンカルナシオンをめざす理由…… 4

岩名雅記のCmジャーニー ②②

三宅洋平の得た257,036票／参議院東京選挙区 … 5

肝臓癌に罹ってもた …………… 6

ただの市民に何ができるか …………… 7

越後の良寛さんの魅力② …………… 8

宗教活動という名の「商売」に税金をかけるべき … 9

もうひとりのミケランジェロ ……………10

劣等感 ……………10

選挙がおわって

「野党共闘」と「マスコミ」と「維新」……11

日本共産党さん

ぜひ党名変更を検討してみてください……12

家庭でできる健康アジアメニュー⑦

芋頭滑雞煲……オーシロカズミ… 13

池波正太郎 一江戸の香りを聞いた男 ……………14

時宗の開祖一遍 すべてを捨てた念仏行脚の僧…15

恭子の日記⑦ ……………16

2016夏

ポケモン・バカモン・ニセモンだらけ



暑さの夏をさらに熱くしたギャルみこしの熱気 (天神祭)

●ポケモン

「ポケモンGO」が配信され、ポケモン探しの若者たちが各地で異常発生した。仮想キャラクターと日常空間を交錯させ、出没するポケモンを捕まえるこのゲーム、その経済効果「ポケノミクス」は、「アベノミクス」も顔負けだとか。ポケモン狩りで敷地に入られては困ると「ポケモンGOお断り」と表示する施設も出る始末。アメリカでは、「ポケモンGO」に熱中する人間ばかり狙う暴力事件も発生している。たくさんのキャラクターが出現する

トンボリ (道頓堀) を埋めつくす中国人観光客



が連れた小さな子どもたち。眠いのだろう、むずかっている。こんな時間まで子どもを連れまわさないで。人間の幼稚化がますます進行する

扇町公園では深夜、大勢が集結していたが、互いに無言のまま。スマホの画面だけを見てポケモンを追う光景は異様だ。とぼちちりを受けているのは、カップル

●バカモン

この現象、企業はどっさり儲かってウハウハだろうが。

知的障が

者の施設の元職員が真夜中、退職した施設に侵入し、身動きのできない19人の首などをナイフで刺して殺す、非道の事件が起きた。犯人の動

ポケモンGOでゲームに興じる人たち (扇町公園)



●ニセモン

間の愚かさを感じさせる。悔しさの淵から放たれたその言葉に思いを馳せ、寄り添える人間でありたいと願う。人としての魂を失わな

機は「障がい者は不幸をつくることしかできない」だとか。ある出来事を思い出した。孫と同じ作業所に通う障がい者の女性が初の書道個展で披露した「私も人間、みんなも人間」という書。刺すように冷たく差別的な視線を街で浴びた時の、忘れられない思いを言葉にしたものだという。シンプルだが、不条理を撃つ言葉が人間の愚かさ

夏の参議院選、「アベ一強」で、水は濁り議

員劣化が目立つ。「どうした野党」といってもダメ。仕方なく「自民へ一票」という人が多かった。またまたカネの問題で辞任した舛添知事がいた。彼は公私混同、公費を私用で使い、世界へ「セコイ」という日本語を流行らせた。こんな連中に今一度、「貧乏とは少ししか持っていないことではなく、無限に欲があり、いくらあっても満足しないこと」(前ウルグアイ大統領ホセ・ムヒカ)の爪のアカでも煎じて飲んでほしい。ニセモン議員を放置するな。

真田幸村

歴史は後世書き変えられる

東京 原野 通有

NHKは官営放送であるが故にか歴史を肯定・美化しているが、歴史をチャカすのが常套手段の三谷幸喜脚色の大河ドラマ『真田丸』ではさすがに、真田左衛門佐信繁と正しく名乗らせている。夏の陣から400年、いつの間にか名前が信繁から幸村に変わったか、その経緯は分からない。昭和33年創刊の吉川弘文館社（安政4年設立）の人物叢書シリーズではまだ堂々と、真田幸村となっている。この叢書で歴史学の権威、國學院大學名誉教授桑田忠親氏が少年の頃から好きだった淀君を著している。彼女も没後は呼称が淀君と定着したが、桑田氏も指摘するように生存中に淀君・淀殿と呼ばれたことはない。小和田哲男静岡大名誉教授等が「君（きみ）は売春



婦の卑称」と指摘されることもあって、淀君と言われなくなったのはここ数十年のことだ。その淀の方のために造られたのが京都競馬場の京阪電車淀駅ぎわの小城と私も信じてきたが、これは間違いだ。茶々の淀城は現淀城址より北方にあって案内板を丁寧に見ないと見つけれられない。妙教寺という寺内に石碑のみ、ひっそりとある。茶々を愛した秀吉は種無しだから秀頼の父親は？などと珍説がうごめ

くが、現代と違い取り巻きがいる中で浮気などはできるわけがない。信繁は大坂城内で存在感は薄い。茶々と会うことすらもなかったのではないか。誰と不倫しても二人共、暴君秀吉に殺される。

そもそも秀吉は長浜時代に側室南殿との間に秀勝をもうけた天正4年10月14日に6歳で亡くした。長浜の妙法寺の裏手にはお墓まで残っているし、娘も（夭折）生まれている。独裁者秀吉の三大汚点は

利休の処罰、甥の関白秀次の切腹、最悪は朝鮮征伐である。現代は朝鮮出兵と言うが、正しくは朝鮮侵略である。

兵はなぜ脱走しなかったか

落城まで下級武士、足軽、小者、侍女まで何故逃げなかった？負けると分かっていた大坂城にましてや夏の陣に何故参戦したのか？名のある武将クラスならまだ分かる、死に場所を求めてとか。彼等



大阪市天王寺区鍋差町心眼寺（この辺り一帯を大阪人は真田山という）は真田丸の中にあつたといわれる。門前にある石碑

の下で働いた兵が（そのほとんどは元の家臣ではない浪人者達）勝ち目が見込めないのに何故脱走しなかったのか？大阪夏の陣図屏風絵（福岡黒田家蔵）には開戦直後の城の南側から攻める徳川軍に対し真田や毛利の対陣が天王寺辺り、右隻に描かれている。同時に左隻全面に、城の北側の天満川、神崎川を小舟で、泳いで逃げようとする敗残兵や避難民と、略奪・誘拐・首狩りしようとする徳川方の兵士や野盗が描かれている。いわゆる乱妨取りで、このような生々しい描写は他の合戦図屏風には見られない。こうなることが充分予想されたのにどうして城内に夏の陣を迎えるまで婦女子や足軽小者まで残っていたのだろうか？それどころか八尾や若江方面まで打って出るのに多くの兵が付き従っている。

真田は日ノ本一のツワモノといわれるほど家康を追い詰めたところがあるが、誇張だろう。敗者を哀れむ心情が真田をして活躍したことに物語が作られたのだろう。歴史は後世、権力者が都合の良いように書き変えてしまう。

700日世界一周旅行 ③ パラグアイ

人々が
エンカルナシオンをめざす理由

広島県三次市 荒川共生

2013年3月より世界の友人を訪ねる旅を続け、今年3月に帰国しました。各地でのエピソードをお伝えします。ボリビアのウユニ塩湖の次にめざすは、パラグアイのエンカルナシオンという町。なんと4日もかけてたどり着いたエンカルナシオンでは、目的の用事はわずか3時間で終了。そこからさらに長距離バスで首都アスンシオンへ。

私たちだけでなく、多くの日本人長期旅行者がこの小さな町を訪れます。パラグアイ第3の都市、南東部のイタプア県の県都で人口約10万人、特に観光資源もないこの町を、なぜみんなめざすのでしょうか？それはこの町に在パラグアイブラジル領事館が

- | | |
|-----|--|
| 1日目 | ウユニ（ボリビア）01:45→オルーロ09:10 鉄道〈510km、7時間30分〉
オルーロ09:30→コチャバンバ14:30 バス〈215km、5時間〉
コチャバンバ19:30→ |
| 2日目 | →サンタクルス08:00 バス〈510km、12時間30分〉
サンタクルス（ボリビア）20:00→国境越え |
| 3日目 | →アスンシオン（パラグアイ）23:50 バス〈1450km、28時間〉 |
| 4日目 | アスンシオン00:30→エンカルナシオン（パラグアイ）07:00
バス〈400km、6時間30分〉エンカルナシオン12:30→アスンシオン20:00
バス〈400km、7時間30分〉→国境越え |

請書以外に顔写真や往復航空券、預金残高証明書（英語）などの添付書類も必要な上、発行までに1週間以上かかります。しかし、なぜかエンカルナシオンのブラジル領事館では、申請書と顔写真と申請料のみ、しかもわずか3時間で発行されるのです。

4日間の移動距離は3485km。この間ホテルに泊まることもなく、鉄道、バスと乗り継ぎ、エンカルナシオンにたどり着きました。鉄道だけは前もってチケットを購入し



これぞ典型的ボリビアおばさん

あって、ここで簡単にブラジルビザが取れるとの噂で日本人旅行者がはるばるやってくるのです。
本来ならブラジルビザの取得手続きはややこしくて、申

ていましたが、バスの移動は行く先々の町のバスターミナルで、片言のスペイン語で次のバスを探しチケットを購入。特にきつかったのがボリビアのサンタクルスからパラグアイの首都、アスンシオンへの長距離バス。

世界最大の
大湿原・パン
タナールを横
断するこの
ルート、エア
コンがないた
め暑く、窓か
らは埃が容赦
なく入ってきます。途中は未
舗装のガタガタ道。ボリビア



ボリビアからのバス、国境付近にて

から国境を超えパラグアイに入ってから検問所が計8ヶ所。検問がある度に荷物を外に引っ張りだし検査を受けま

す。移動距離1450km、28時間もかかったこの移動はこたえました。

移動にはかなり苦労しましたが、いともあっさりビザを入手。苦労した分、妙な達成感を得ることができました。旅行中にブラジルビザの申請を行なう長期旅行者にとってはありがたい場所であり、それがエンカルナシオンを訪れる最大の理由でした。ところで、なぜここでブラジルビザの取得がこんなに容易なのか？20年以上勤務する領事が大の親日家だから、という噂があるのですが、その真偽の程は定かではありません。

〈旅のアドバイス〉

※ビザが必要な国を訪問する場合、極力、日本で事前にビザを取得しておくことをおすすめします。

※中南米を旅行する場合は英語がほとんど通じないため、簡単なスペイン語を覚えておく、と便利。数字とあいさつ、「ありがとう」「いつ」「どこ」「どのように」「どこへ」「どれくらい」などの単語は必須です。

時間を遡行できないならばせめてこの脚で /

岩名雅記の Cm ジャニー22

三宅洋平の得た 257,036 票 / 参議院東京選挙区

いわな まさき / 舞踏家、映画監督 (フランス/南ノルマンディ在住)

を被った東北5県では反自公が4勝1敗で圧勝したし、沖縄では当然のことながら現職の「ハボマイシコシコ何だっけ?」の自民党島尻北方/沖縄担当大臣が破れた。

これらの県では生活に繋がる歴史が顕在しているわけだから投票者の意識が他県に比



朝日新聞のポスター批評では「斜めにカットのある斬新で個性のあるポスター」と高く評価された。ただ「山本太郎氏がいなくても充分個性的なので余分だったかな」とも編集部

さ て26万票弱を獲得して破れた三宅洋平さん。

お疲れさま、ありがとう、しばし休んでください。オレも勝手な思い込みがあつていささかめげた。FBを見る限りでは友人たちの多くは洋平さんを支持していた。でも、むしろFBの아트仲間は全体

で言えば少数派であるという事に想いが至らなかつた自分に喝!

洋平さんは大きな街頭演説では一万人前後の人が集まつたと聞く。そこから推測してこの26万票弱はそこに参加した人々だけだつたと言えなくもないだろう。俺も及ばずながら色々やってみたが今ひとつ

力及ばず申し訳ない。孤独に戦う者の訴求力が、有権者の帰属意識を利用した組織力に及ばなかつたということか。

3年前に彼は比例区で17万票を獲得、3年後の今回は26万弱の得票だつた。3年間で9万票も伸ばしたとも言えるが、当確ラインが50万票だつたことを考えるとこの

26万票弱は当選に手が届かなかつたとも言える。とはいへ、この26万票以下で当選した議員が数多いことも事実。

ポ ジティブに考えれば彼が再度、再々度挑戦してくれば市民による下支えや彼の言論が浸透して今度こそ勝利はありうると思うが、

その前に日本丸が沈没する危険性が大きい。安倍さんよ、乗客の一人もいなくなつた船を幾ら漕いでも一銭にもならんぞよお。

思うに①日本人は自分で考えない、②特定集団への帰属意識が高い、つまり孤独/孤高が苦手、③そして日本のマスコミの退廃。この三つが亡国日本の三種の神器というわけだ。外国が一概に良いとは言わないけれど、民主主義の根幹の構造がまったく違う。日本人は癒着と帰属意識でがんにがらめだ。少なくとも報道者はフリー(無帰属者)でなければ真の権力への批判精神は出てこないだろう。そういう意味では洋平さんや僕らのような孤独な実演者の方が本当の力を発揮できる。このままでは日本丸の沈没は眼に見えている。



岩名監督作品『シャルロット すさび』に監督自ら2カットで出演した

あ 中々鼻くそほじくつたり、携帯したり、居眠りコツクリが得意の利権屋、癒着屋、汚職屋のオンパレードが始まるかと思うと憂鬱になる。

いやそうじゃない、オレが書きたかつたことをやっと思いだした。この逆行とファッショ化の時代にあつてそれぞれがもう一度コトを考え直し、深く推敲し、孤独になること。自由に発言し、権力が道をふさげば地に自らを投げ出して動かぬ意志を示すこと。その自分の力を試す絶好のチャンスが巡って来たんだということ。そのためにもレイドウンしても差し支えのないおしゃれな服を準備すること。オワリ。

参

院選は予想どおりというか思惑どおり安倍インチキ自公の勝利に終わった。寺山修司の「日本人の幸福論は歴史に参画していない」という言葉がパッとアタマをよぎつた。

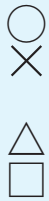
今回の選挙でこの寺山の言葉を裏付ける結果が幾つかある。例えば福島を初め、震災

べ高いと言つていいと思う。

東京ではどうだつたのか?自分たちが使つている電気を供給していた東電福島原発に対して都民はどんな想いがあつたのか?憲法改正については?しかし今回の参院選の結果、歴史とは無関係に幸福を謳歌していた我々にもヒシヒシと歴史の足音が忍び寄つてきたわけだ。

肝臓癌に罹ってもた

京都市



日本人の2人に1人は癌になるといふ。そして3人に1人は癌で死ぬといふ。私はMRI検査でひっかかったので、CT検査で確認したら肝臓癌だと長年、世話になってる医師から告げられた。昔だったら癌告知はしないのに、今日では告知が普通なん

だと実感する。症状が出てきたから見つかったのではないから、そう深刻ではあるまいと自分でも意外に思うほどショックではなかった。2人に1人というだけあって、世間でも私の廻りでも親戚でも癌患者はあの人、この人幾らでも数えられる。若く



国立癌研究センターの2015年の予測のがん罹患数は982,100例(男性560,300例、女性421,800例)
 ・2014年の予測値から約10万例、実測値に近い2011年推計から約13万例増加
 ・大腸、肺、胃、前立腺、乳房の順に罹患数が多い

して何年も闘病の末に亡くなった人も多く聞く。発症して5年経過しても元気に活躍している人も多い。自分はどっちかなと他人事みたいないないが去来する。再発、転移が問題だということは皆よく承知していることだ。都知事選に立候補した鳥越俊太郎氏(76)も癌の経験者とは聞いていたが、大腸、肺など4回も襲われ、最後の肝臓癌から7年経過したから「今が人生で一番健康だから自ら出馬」の決意をしたとか。ほう50代から60代に長い闘病生活をしていたんだと見直した思いだ。

「塞栓手術をする」ので1週間ほどの入院を勧められた。癌細胞に栄養を送っている血管を栓して栄養を断つ兵糧攻め作戦だそうだ。ああ、そうかと合点したが、病棟で若い医者からこう説明された。「これは検査と手術を兼ねているが、その後、再手術が必要」と言い「開腹手術は医者が肉眼で見ながら手術するんですからね」と。担当医がやってきて「開腹手術とラジオ波による手術」の選択肢を示した。開腹の外科医は

「手術は7、8時間の大手術」と説明し、内科医のラジオ波の先生は「1、2時間で体の負担も軽いし、根治療法です」と。こんなに差があれば文句なしではないか。そういえば医学が進歩してラジオ波の治療法が20世紀末から始まったと昔、読んだのを思い出した。AMラジオ波に近い周波数の450キロヘルツで癌細胞を70〜80度で焼いてしまう戦略だ。えっそんなんでできるの？熱ないの？他の臓器に悪くないの？簡単な手術台に寝かされた私は、局所麻酔+鎮痛剤だから、おおよその治療経過は聞こえてきた。「はい、刺しますよ」と少し太め注射針——といっても、感覚は変わらない、が肋骨の間に刺さる。「熱くなりますよ」確かに胸が熱く侵食される。麻酔科の先生だろるか「あと××分ですよ」何だか手術台が浮遊しているようで、天井が迫る。「もう1度刺しますよ」2回はハッキリ覚えているが、後日手術医は4回刺したとか。「もう次の人用意してもらって」あれ、そろそろ終わりかな。「じゃ、ベッドは隅っこに」あれあれ邪魔者扱いかな。病棟の看護士が搬出しに来るまで室外に放置されたみたいだが、廊下に置かれることはないだろうから手術終了後はそんなに広くない手術室の隅にいたのだろうか。刺し口に大きめの絆創膏を貼ってもらい、4時間は身動きできない安静。数日して貼り替えてもらい、その後自然に剥がれた。術後3日して退院。退院後2週間でゴルフをした。

術後の診断日に手術医に聞くとは焼いたのは5〜7分のこと。そうか、ふらふらしていたからもっと短い時間を感じたが、ある程度の時間をかけるのや。それにしても針の先で皮膚から10センチくらい深さで焼くなんてたいしたもんや。担当医から抗癌剤治療は必要ないと言われていたので重くないのかなと思いきや、肝臓は転移し難いから抗癌剤は不要だが、再発しやすいと聞いてガックリ。粘り強いのが私の身上だから闘い続けて負けるもんか。それにしても癌、ガン、ガンサードも語感ハルイわな。

ただの市民に何ができるか—— 戦争への道を歩まないために

初めて街頭に立った

鎌倉市 塚越 敏雄



私は四十数年間、小学校教師として働いてきた。教え子は千人近くになるだろう。教え子の誰かが、将来、海外の戦場に行き、殺される日が来るかもしれない。あるいは、自分を守るために相手を殺す

ことも起こるかもしれない。数年前には感じなかった不安や危機感を、今、感じている。武器輸出の拡大、秘密保護法の実施、海外で米軍と協力しての戦争を可能にするなど、安倍政権は着々と戦争へ

争法廃止を求める街頭署名活動をしていた。私は、それを知り、立派な行動と思った。でも、自分もやろうとは思わなかった。見知らぬ人に署名をお願いする自分の姿を想像するだけで、恥ずかしくなっ

の道を進んでいる。それを可能にしているのは、政権を支持する国民が多数派だからだ。こういう中でただの市民に何ができるのだろう。

去年の11月から、Kさんはたった一人、鎌倉駅前前で戦

てしまった。それに、自分が駅前立ったとして、署名してくれる人などいるのかと思った。だから、私は友人、知人、親戚などに手紙を書き、5人分の署名集めを依頼した。知り合いに頼む方法は効果があった。期待以上の署名が集まり、満足していた。

今年の3月、ごく普通の主婦である妻が、駅前で署名集めを始めた。Kさんの行動に触発され自分も何かしなくてはと思ったのだ。それから1カ月くらいたった頃、私は街頭署名活動について妻と話し合った。妻は静かに言った。「確かに駅前立つて署名を集めても、ほとんどの人は通り過ぎて行ってしまう。それが現実。だけど、署名をしてくれる人はゼロではないの。何もしなかったら、いつまでもゼロのまま。でも、活動を続けていけば、必ず増えていく。それに、署名しないで通り過ぎていく人の中には、次の機会があったらしようと思

う人がいるかもしれない。活動している私たちの姿を見て、励まされる人、何か感じしてくれる人がいるかもしれない。黙って何もしないのでは何も変わっていかない。」

そう話す妻に返す言葉もなく、やっと重い腰を上げた。最初の4月2日は緊張した。駅前の人波に圧倒されて、声を出せないのだ。それでも、やっと声を出し、1時間で6筆集まった。次週には4筆。どんなことを言えば振り向いてもらえるか、どんなふうに言えばわかりやすいかを考えて声を出すようにした。署名してくれる人と話すこともあった。目が不自由な方からは、「戦争になると私のような者は一番苦勞するんです」という話が聞けた。初めて会った人と会話を交わすなど、思いがけない喜びだった。

2日間くらいは、と思って始めた駅前での署名集めだった。それを約3ヶ月間行い、私だけで95筆集まった。知人の協力を含めると、夫婦合計583筆。何もしなかったらゼロだったものだ。

黙っていたら自由が制限される。何もしなかったら権利が奪われる時代になっている。憲法改悪阻止に向けて、私は行動していこうと思っている。

越後の良寛さんの魅力②

長野県 塩尻市 中島 敏正

(前号より続く)

⑤良寛が非説教者で、言い訳もなく寡黙だったことは多くのことが口伝として伝わっている。『あんた、どうしてそいうやって日がな子どもらと遊んでばかりおるんじゃ』と村人たちに言われても、良寛は一言も弁明しないで、ただ頭をたれているだけだ。言葉で言ったところでどうしてこの気持ち・この真意を伝え得よう……。

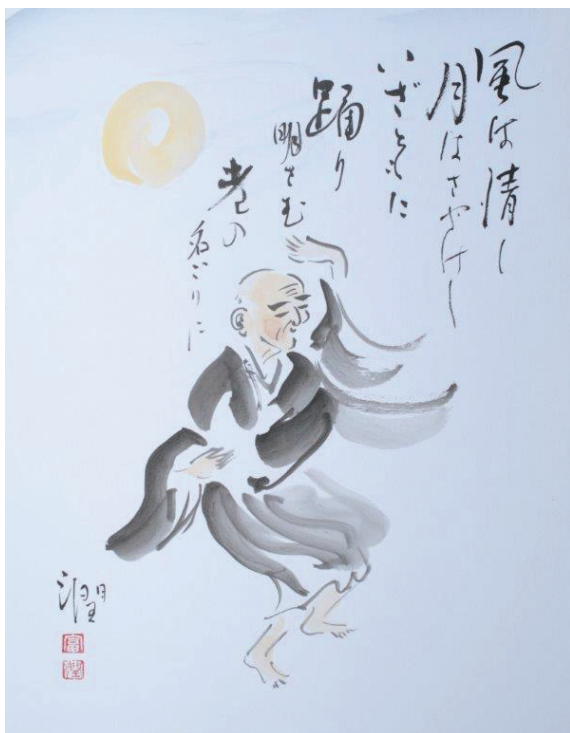
また長い放浪、行脚の後、一時、郷里近くの郷本海岸の小屋に寝泊りしていた時、塩焼き小屋の放火犯と疑われ、土地の人々によって危うく生き埋めにされそうになったが、偶然、通りかかった医者が助けて何故弁明しないのだと問うと、『どうしようば』とだけ答えた。

かと思うと、甥の馬之助のひどい放蕩ぶりをなんとか直してくれと頼みこまれて、何日も泊り込んだにもかかわら

ず、一言も説教する訳でもなく、とうとう、おいとまするその日となって、わらじをはいていた時、はらりと落とし、たひとしづくの良寛の涙に馬

かされる。

⑥良寛は曹洞宗の印可の偈を授かりながら、最後は浄土真宗の木村家の墓所に葬られた。要するに、仏教の宗派に



出雲崎町良寛記念館HPより



松本市で良寛さんの書物を読破研究する会を月1回開催。筆者中島氏は左端

之助のその後の放蕩はピタリと止んだという話が残っている。

饒舌や言行不一致がとても多い世の中にあつて、こういった口伝にふれると心が動

はそれほどこだわりを持っていなかった節が見られ、さらに仏教の世界はもとより、神道・儒教・道教の四教に深く精通した人物で、「松本市寿」著『良寛の生き様』によ

れば、宗旨は(雑炊宗)となる。そして大胆にも仏教者でありながら、人間の死後は亡骸が残るだけで何も新しいことが始まる訳ではない。極楽とか浄土とかは仏法の方便である

とまで言い切っている。(……同「良寛の生き様」より)。あたかも現代作家五木寛之氏がいう「人は大河の一

滴」と同義語となる。幅広く深い学問と仏門の修業の果てに良寛の行きついた究極の心境・境地というのが、結局、巡りめぐって『無』、あるいは『自然』とい

うところへ回帰していったように思えてならない。⑦「知足」に関しては前号で触れたので省略するが、本来、潜在能力を顕在化すべく努力したり、自分の理想を求めて、より高みを目指すことは人として当然のことかもしれない。また特に現代社会は厳しい競争原理が働いている。こういった中であつて厭世的・退嬰的にもとれるが、良寛の生き様に触れる時、精神的な「駆け込み寺」あるいは精神の「自由な解放」を感じるのである。

⑧ほとばしり出る想いを、詩歌や漢詩にしておびただしい数の作品を書いて残した。そうしようとした行為はややもすると見落とされがちだが、極貧の生活の中にあつて、紙や墨汁の調達にも、用意された紙にせがまれて書くことはあつたにしても大変な苦勞があつただろう。意識したかどうかは定かでないが、われわれが今日、目にすることが出来る多くの遺作は、私は良寛が後世に残したい、伝えたいという強い意志が働いたからこそ、こやうやって見ることが出来るのだと思つている。

⑨すでに70歳となった木村家で世話になっていく良寛のところへ詩歌の手ほどきを受けたいと、突然40歳も年下の貞心尼が塩入峠を越えて訪ねてくる。

それから良寛が亡くなる4年間、師弟として熱い交流が続いたのだ。……『はちすの露』……貞心尼著。二人の交流については瀬戸内寂聴も小

説にしている。晩年に貞心尼との出会いがなければ、良寛も山中に住んだ一人の優れた坊さんの味気のない平板な話で終っていただろう。一時でも華やいだ時間があったということは、今後の良寛を語る上で『良寛物語』を豊かにしてくれる。

ここで良寛の漢詩の中でも代表作の一つといわれているものと、また生涯心の師と仰いだ道元（曹洞宗）の作った歌を合わせて紹介しよう。

生涯 懶立身 身を立てること
にもうく 自然のままふる
騰々任天真 自然のままふる
まう
囊中三升米 ずだぶくろの中

に米三升
誰問迷悟跡 まよいとか、さ
とりはもういい
向知名利塵 わずらわしいこ
ともけつこう
夜雨草庵裡 雨の夜は庵の中
で
雙脚等閒伸 両足を思いのまま
ま伸ばす
……（良寛）

春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬さえて ずしかりけり
……本来の面目（道元）
本来の面目とは真理のこととて、真理は、このめぐりゆく四季の折々の自然の中にこそあるという意。

宗教活動という名の「商売」に 公平に税金をかけるべきだ

東京 江東区 馬場 正雄

信仰の自由は賛成だが、憲法20条（宗教は政治に関係してはならない）に反して宗教が政党を作り政治に介入するのはおかしい。

近代は信仰の自由を叫ぶあまり、宗教を批判することが宗教弾圧と受け取られ、信仰の自由を越えて過度な宗教保護になっている。

日本では18万もの宗教法人が登録されている。幕末以降の新宗教でもベスト30位での総信者数は3800万人と自

称する。これに既成宗教やキリスト教を加えたら1億人以上の信者数だ。神社も勿論宗教だ。日本人の殆どは実質無宗教と言われるのだが。

街のあちこちにある創価学会や幸福の科学、天理教や生長の家の不動産、建物・土地にも固定資産税が掛からない。本願寺や寺町、神社も税金がかからない。庶民が土地や家屋を持てば否応なしに課税される。何故宗教には税金



東本願寺（京都）



東京信濃町の一隅にある創価学会の建造群



幸福の科学（東京港区正心館）

がかからないのか？ 確かに財団など私益を求めない団体に課税はないが、自宗派だけの利益に動く宗教活動に何故の利益に動かないのか。それは強力な圧力団体だからだ。敵に回したら面倒だから誰も敵対的行動を取らない。創価学会などは最高の圧力団体だ。

大川隆法氏率いる幸福の科学は急速に信者を獲得したが、立派な建物を随所に建

て、選挙に出たり、ポスターを貼り新聞広告を出すのは、よほどお金が余っているのだろう。1100万人の信者と称するが、事実なら当選しないのはおかしい話だ。オウム真理教化しなければと懸念する。寄付を受けたら宗教法人の収入だから所得税を課すべきだ。消費税を取っても良いではないか。お布施や高額な戒名まで非課税。戒名を授かる

だけで何万いや何十萬かかるのはどうして？ 戒名には位があり値段が違う。だから坊主丸儲けとか、葬式仏教と言われる。お寺が世襲制度では私物であって宗教とは異なる。キリスト教は各教会員が財政の面倒をみているから大変だそう。税務当局は宗教法人への立入り調査をしぶる。宗教活動でなくても宗教活動の一環だと非課税申告をする。私は門外漢だが「あれもこれも宗教活動の一環」と言えば言えなくもない。出版活動も布教活動、七五三もお宮参りも葬儀も宗教活動とも言える。境目が無い。全部税金をかけたら相当国庫が助かる。誰も試算しないが、取って言わせてもらう。

カリン・ホルネのミケランジェロ

東京 江東区 宮内 祥之

学生時代、絵画にはくはそれほど関心がなかった。ミケランジェロやダビンは知っていても、画商・コースケに教えてもらうまでミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョの名前は聞いたことがなかった。

後年、パリ・ルーブル美術館の日曜講座でカラヴァッジョの説明を受け吃驚した。殺人者の天才画家なんて前代未聞である。「ルネサンスを超えた男」と銘打った日伊国交樹立150周年記念のカラヴァッジョ展を先日、上野の西洋美術館（本年度世界遺産に登録された）まで見に行った。

彼は激しい気性と強烈な自意識、自分の才能に対して絶大なプライドを持った嫌味な男だ。気の弱いぼくは絶対友だちにしたいくないタイプだ。酒、博打、女、喧嘩と自分には真似ができない無頼な生き様に、逆に彼の作品に興味を湧いてくる。何度も逮捕され、ついには人を殺めてしまふ男がなぜあれほど感動的な絵を描



ホロフェルネスの首を斬るユディット（ローマ：国立古典絵画館）

くことができたのか。聖書を題材にした斬首、磔刑の作品。光と闇の効果を計算し尽くした人物の動きと表情の描き方はまるでその場に立ち会っている錯覚に陥るほど迫力満点だ。後の画家・ラトゥールやルーベンスが大きな影響を受けたという、北村一輝の音声ガイドに十分納得した。

なかでも一番感動したのは、エルサレム郊外の寒村エマオでのキリストの復活を描いた『エマオの晩餐』（ミラノ・ブレラ絵画館出品）である。この絵は、ローマで殺人を犯した年（1606）に描かれている。逃亡中の犯罪者が、こんなにも静謐で神々しい絵を描けたのか、凡人のぼくには理解不能だ。

作者の人格と芸術作品は必ずしも一致する訳ではないらしい。カラヴァッジョは、38歳で死去。数々の傑作を残し、今もなお、現代人に感動を与えている。満員の美術館を出て、ぼくは複雑な思いに駆られた。

チビで、脚が短く、がに股で、顔が大きくて（6頭身だとか、お尻の下は直ぐ踵…なんていわれたこともあったなあ）、これといった特技が無く、足が遅くて…。英語が出来なくって（授業の英語は出来たよ、関係ないけど。田舎だったからか、学業の成績だけは良かった）、服選びのセンスが悪くて…といった劣等感の塊だった僕である。

劣等感というのは、ありたい自分との乖離の認識である。歳を重ねるうちに、英語は出来るようになり、体型や外観について気にする必要性も無くなり、（そもそも美女が近づいてくる筈がない…と悟ったのが、大きいのか）ありたい自分が現実の自分へとぐんぐん近づき、殆ど劣等感といった感覚ではなくなっている。この感覚は、60歳前後になって以来初めて味わうもので、ありたい自分との乖離が、劣等感にならないのである。

例えば、今僕はスペイン語を英語並みに…と思っているのだが、スペイン語ができない事に「劣等感」は感じない。習ってもいないんだもの、出来たのが当たり前…と思っているんだらう。昔のように「知らないこと」「知らない」というのに躊躇もしないし、（他人が（僕が）知っていること

思っていることを、知らない…ということ、恥ずかしいことだ…と思っていた）チビ・短足・がに股、云々は変えようとしても変わらない事を認識しているし、そもそもそういったことは外観の比較論であって、機能や性能に関するものではないんだから…といったような言い訳の必要性も無くなっている。

いやいや、この地にいるとその全てが日本人であることのアイデンティの重要な構成要素な訳で（だってチビ、短足、がに股、6頭身…云々でない人を「日本人離れした…」という自虐的な表現で形容していた時期もあった。もつとも僕は開き直って「ガイン離れした…」と自分を表現していた）そういう事は些細なことで、3拍子も4拍子も揃った（地球の裏側から、メキシコのためにわざわざやって来た…日本人である）僕の、むしろ人気の源のようである。（先住民には良く似てるし…ね）講演会の後には、記念写真を…と多くの人の行列ができるし、活動先はチビで短足、がに股、6頭身のオジサンの活動中の写真をたくさん撮ってホームページに多用し、FBにアップし…している。それが受けるのなら、僕にはそれ以上言うことはない。

劣等感

浮遊人

筆者は1950年生まれ スペイン語
研修中の年金生活者でメキシコ・シテイ在住

選挙がおわって――

「野党共闘」と「マスコミ」と「維新」

大阪市 荒木 淳子

2016年参院選は、日本の将来を決めたいへん重要な選挙といわれてきました。安倍首相がもくろんでいる「3分の2の議席をとって改憲」を阻止しようとする政党と市民が、前代未聞の「野党共闘」を実現し、全国各地で「野党共闘」を旗印に選挙戦を展開しました。

しかしどうしたことでしょうか。盛り上がっているのはごく一部の地域、一部の人間だけで、どうも全国的な盛り上がり欠ける感じなのです。ふと思いついたのは、小泉首相のときの「郵政選挙」。ふだん政治にも、ましてや郵政事業になど何の関心もない人までもが「郵政民営化」に何らかの関心をしめし、投票率は65%を超えました。あの選挙のとき、マスコミはこぞつて、刺客だの落下傘候補だのと選挙の裏事情を面白おかしく書きたてました。



かたや今回の参院選。テレビも新聞も選挙の報道はもちろんするけれど、いたって控えめ。ましてや「改憲」については一部のマスコミを除いて無視。投票依頼のために電話した友達の半分以上が「野党共闘」という言葉すら知りませんでした。ああなるほど、選挙というのはこうやって大手マスコミのさじ加減ひとつで人為的に作られるものなんだと痛感した瞬間でした。

投票率を上げたくない、改

憲を争点にしたいくない安倍政権の意向にびったり沿うかのよう、選挙報道を控え、「改憲」という真の争点を伝えなかつたマスコミの責任は、まことに重大、というより犯罪的であつたと思えます。これはもう自由な報道でも何でもありません。

さて肝心の野党共闘です。大阪と兵庫は全議席改憲派に独占されるという非常に残念な結果に終わりました。でも全国的にみると、「野党共闘」は期待以上の成果を上げたと言えると思います。野党統一候補で闘った一人区で、予想以上に野党の統一候補が善戦しました。そして福島と沖縄では現職大臣を退けて、野党の統一候補が当選しました。これはいったい何を意味するのでしょう？

争点が明確になった地域、いまの政治に本当に痛みを感じている地域、原発事故があつた福島、米軍基地問題をめぐって大反対運動が続いている沖縄、そしてTPPで現政権の大きな裏切りを経験した東北で、有権者は現政権ではなく、野党の統一候補を選んだのです。

何が問題になつているのか、安倍政権は表向きは聞こえのいいことばかりいうけれど実際はどんなことをやっている政権か、きちんと有権者に理解された（ときに大きな痛みを伴つて）地域では、野党が勝利したのです。そのことにわたしはもどかしさと同じ時に大きな希望を見出しました。もどかしさ、というのはどういうことか少しだけ書いておきます。それは、福島や沖縄の人たちが現政権下でどんな目にあつているか。それをきちんと見ていけば、たとえ自分が当事者でなくても安倍政権がどんな政権かはわかるはずだと思ふからです。でも自分自身に火の粉が降りかかつてこない限り、どこかよその地域でだれかが大変な目に合つていても気にしない。

日本全国を覆っているこの根深い無関心を、残念であり、腹立たしくもあり、もどかしさと感じるのです。最後に大阪と兵庫について書いておきます。大阪と兵庫の選挙戦、これは一言で言つて、おおさか維新に負けた選挙だつたと思います。大阪で

は現政権を批判すればするほど、政権批判の受け皿としておおさか維新に票が流れるという特殊な構図があります。橋下元大阪府知事、前大阪市長が「改革」を掲げて派手に登場して以来、いまだにおおさか維新＝改革派というイメージが抜けきらない大阪で、野党共闘を掲げる陣営は、現政権に対する批判だけでなく、徹底した維新対策をする必要がありました。それができませんでした。維新が自公と考え方の近い改憲派であることを知らずに、自公はいやだから維新に投票したという人が非常に多かったのではないのでしょうか。わたしの友達もそうでした。今後につなげていくべき課題だと思つています。

「野党共闘」と「マスコミ」と「維新」。2016参院選は、今の日本のあり方が、ますますクリアになった選挙でした。道のりは遠い、けれども希望は失われていない。それが今回の選挙だつたと思います。次の選挙はどんな選挙になるのかいまから楽しみにしています。

共産党さん、日頃の活動ご苦労様です。その輝ける歴史に敬意を表します。多くの党関係者は私利を排して正義の日常活動をされていることに感服しております。とりわけ安倍政権の暴走を止めるために全野党共闘を優先されたことを心より歓迎します。更なる党勢を狙う戦略との見方もあるが、そうであってもこれまでの基本方針である全ての選挙区に公認候補を取り下げた勇気は見上げたものです。

政党たるもの政権党に反対するのが本来の目的ではないはずです。その政党の理念を実現するのが目的であるはずでしょう。抵抗しても自党の政策の実現とは関係ないでしょう。ましてや共産党は高邁な理想社会を掲げているのですから。されば何よりも多数派を目指さねばならないのは共産党さん自身がよく分かっておりますことでしょう。

しかし、時代は大きく変わってしまつた。世界は思想で動く時代ではなくなつた。共産主義の理想を認める人が日本に何%いるでしょうか？ それどころか共産主義イデオロギーに好意を持たない人が

圧倒的多数でしょう。それは将来に亘つても変わる可能性はないでしょう。確かに保守勢力の悪宣伝もありますが、皆さん方にそれを跳ね返すだけの説得力は無理でしょう。

日本共産党さん ぜひ党名変更を検討して みて下さい。

東京 江東区 三田 栄考

共産党の皆さんも、もう分かっておられるでしょう。絵に描いたような共産主義思想による共産主義経済が実現できるとは思つてないでしょう。

**私は知っている
共産党は実際の政策は
柔軟に対応することを。**

いや、実際に政治に政権に参画しようとするなら柔軟にならざるを得ません。もし、



共産党の旗。やはり負のイメージの共産主義運動を連想させませんか？



ソフト路線を走る共産党志位和夫委員長

えるわけではないから国内は大混乱で、また政権はひつかりかえるでしょう。いや、これらの政策に固執すると永遠に単独政権はありえない。単独政権は突然できるものではない。政治は妥協の産物で

共産党が単独過半数の安定政権を一挙に取れるなら、天皇制も日米安保条約も自衛隊も消費税も理論どおりできるかも知れません。しかし議会を通じたといえそれは革命です。反革命の勢力が直ぐに消

す。野党と共闘しながら政権に近づくしかありません。理想を堅持するのは良いが、ある日突然理想が実現できるものではない。ある程度棚上げしなければ反対党で終わるし

かない。この際、思い切つて党名を工夫して変えるくらいの決意ができたなら、その時に初めて日本共産党は多くの国民に受け入れられることでしょう。残念ながらソ連、中国共産党の負のイメージ、共産主義についての暗い思いが、将来も払拭できるものではないでしょう。共産主義運動が隆盛を極める時代が訪れることは、世界でも日本でももうあり得ない。

野党共闘を渋る人も、反対する人も共産党名が変わればかなり抵抗感が無くなるのではないのでしょうか？英語名だけに残すくらい柔軟性があつてこそ野党共闘も進み、政権に近づき、理念を多少とも実現できるのではないのでしょうか？

いえいえ、私は決して栄光の歴史を書き直せと申し上げているわけではありません。理想とする理念に共鳴し、党勢を更に盛り上げてもらいたいからこそもっとも効果があつて、もっとも難しい党名変更を希望するものです。党外のもののおせっかいな話、お許しいただきたい。



※1人前の土鍋がベストサイズ

■材料(2〜3人前)
 トリもも肉150g
 赤目里芋または海老芋2個
 ネギ3本
 ココナツミルクパウダー大さじ4
 中華だし1素少々



オフ回 芋頭滑鶏煲(トリと里芋のミルク土鍋)

1月末に初めて台湾へ行って来ました。台湾の人々は、みんなとてもフレンドリー。親切でマンナーも良く、大好きになりました。新年を旧暦で祝う台湾では、1月末はちょうど歳末。忘年会シーズンで、レストランはどこも大賑わいです。この4日の短かい旅行で、食事回数に限られた私たちは、1食たりともおろそかにできません。夫と相談して大物料理をめぐらめ、小料理を品数多く食べたいと思いました。これは「台湾郷土料理」と書かれた店でいただいたものです。

■作り方

- ①赤目里芋1個(角1cmの短冊)に切る。(本当はタロ芋を使いますが、日本にないので里芋で代用してください)
- ②土鍋に里芋を入れ、ひたひたになるくらいの水で、柔かくなるまで15分ほど煮る。
- ③トリ肉を食べやすい大きさに切り、油を引いたフライパンでこんがり焼く。
- ④ココナツミルクパウダーを80〜100mlの水で溶く。
- ⑤土鍋に③のトリ肉と④をくわいに切ったネギを加え、中華だしの素と塩コショウで味をつける。
- ⑥土鍋に④のココナツミルクを投入し、さらに5分くらい煮込めばできあがり。(牛乳を混ぜる場合は、分離するので煮込み時間を短かめにね！)



家庭で
 できる
健康
味アミノ酸
 オーミロカズミ

台湾はむしろ中華料理の国なのですが、タロ芋やココナツミルクといった南国の食材が、東南アジアの雰囲気をかもし出します。それにしても、1月の台北はオーバーコートのある寒さ。町の雪光掲示板には気温の度々出ています。甲斐甲斐じゃなかったのよ。

オムツガ
 日本と変わらんやん。

屋台が並ぶという寧夏露夜市へわざわざタクシーに乗って出かけました。さすがここからでもよく、キーレックスなおいが……!

クサイ
 小走りに通り過ぎるも、2、3軒先にはまたまた臭豆腐が……

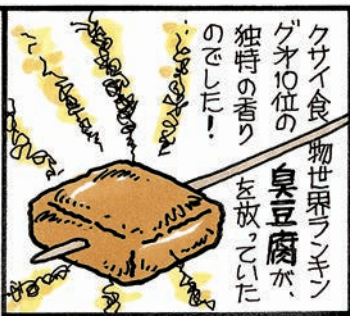
クサイ食物世界ランキン、グオ10位の臭豆腐が、独特の香りを放っていたのでした。

臭豆腐が、またまた臭豆腐が……

食べたらおいしいのよ、おねえさん。

屋台や市場では2、3軒おきに臭豆腐屋があり、そのにおいから迷われることはできません。世界に名だたる臭豆腐がこんなに普通で食べられていたなんて……

うまい、くさん





『剣客商売』『鬼平犯科帳』等作品

池波正太郎

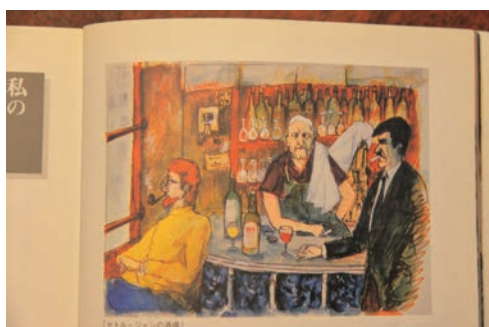
江戸の香りを聞いた男

鎌倉市在住 市川隼

だったが、鬼平は、密偵達と五鉄の二階で軍鶏を突いた。メグレはパイプを燻らせ、鬼平は煙管を嗜んだ。そして、メグレは妻から贈られた愛用のパイプを、少年にくすねられ、鬼平も形見の煙管を、老盗賊友蔵に盗まれた。

パリを描いたのがシムノンなら、江戸を描いたのは、正太郎だった。シムノンはメグレを創り、正太郎は、秋山小兵衛を生み、鬼平を歴史の隅から引っ張り出して英雄に立てた。リュカ、ジャンヴィエ、ラポワントはメグレを「パトロン」と呼び、佐嶋、酒井、兎は鬼平を「お頭」と呼んだ。メグレは、生ビールを好み、葡萄酒を楽しみ、風邪を引いた時は、グロツグを飲んだ。鬼平は、冷も燗も好み、風邪の時は玉子酒だった。メグレが解決困難な事件に悩まされた時に、或は、解決した後の安らぎを求めたのは、ドフイーヌのカウンター

正太郎は、江戸っ子だった。浅草に生まれ、浅草に育ち、兜町で若き日を過ごした。隅田川は、正太郎にとって日々の生活の場であり、彼が描く『剣客商売』、『鬼平犯科帳』も、江戸時代の大川（隅田川）が舞台となった。小兵衛は鐘ヶ淵に住み、若き日の鬼平は「本所の鏡」として、本所や深川を走り回った。小兵衛も鬼平も、江戸の食に通じ、こよなく愛した。江戸の季節の変化が作品に丹念に織り込まれ、今其処で生活しているかのように、



『セトル・ジャンの酒場』（池波自筆画）

人々の息吹が迸り出て来るように、正太郎の江戸への想いが踊っている。この二つの作品は、田沼意次から松平定信の時代を背景に描かれ、歴史の上で評判が芳しくない意次と定信を夫々の小説に配しているが、作者は二人に好意的だ。意次は賄賂政治家に仕立て上げられ、定信は、守旧派の政治家とされたが、小兵衛の後ろ盾は意次であり、腐敗した御家人達に喝を入れる為

に、剣術を奨励したのが意次だった。鬼平は、罪人の再生の為の人足寄場を具申し、佃島に実現させたのが、定信だった。徳川吉宗の享保の改革も終わり、意次が老中となる頃は、商人達が活躍の表舞台を求めた時代でもあった。一方、華美に走りがちな庶民の生活を、質実剛健な儉約令で縛ったのが、吉宗の孫の定信の寛政の改革でもあった。將軍家治の死後、意次は失脚させられるが、幕内の政略争い等何処吹く風で、剣客達は躍動し、江戸の町を跋扈する盗賊を追い詰めるのが、火付盗賊改方の鬼平達だった。

意味したのだろうか。真田太平記は、正太郎のライフワークだが、歴史の複雑な綾取りを絶え間なく繰り返し乍ら、重厚な歴史小説が描かれているようだ。

正太郎は、息抜きにしばしばパリに出掛けた。初めてのパリの街を、まるで昔から知っている街の様に歩き回り、同行者を驚かせた。映画



江戸切絵図

通の正太郎の頭の中には、パリ市街図が刻み込まれ、旧中央市場近くの、シムノンが愛した「セトル・ジャンの酒場」(B・O・F)にも立ち寄った。江戸の香りや、パリの香りを、聞き分け乍ら散策する正太郎の姿が、目に浮かんで来るようだ。

恭子の日記 ⑦

天井画の話

復興と子らの幸せ祈って



日本の地形を変える災害が続いている。祈りの絵を届けたいが、世の中は落ち着かない。九州に行った折り「天井画」の依頼を受けた。たくさんの「気」や「祈り」を天井画に込めたら世の中の悪い流れが少しは良い方に変わるかも、いや変わってほしい——と願った。

吾妻鏡（鎌倉後期成立の史書）によれば「右近の橘」の流れをくむ長崎の水神宮の祖先が出てくる。その神社の天井画を描くにあたり調べていくと、神奈川大学の教授、小馬先生が長く研究をされていることがわかった。大学まで先生を訪ねると、面白いことがわかった。

河童の発祥の地、赤いカップの伝説もある水神宮だ。今回納める水神宮は女神様が守っているという。さらに調べると波佐見の水神宮はもと「縁結び」の神社であつたらしい。私は伝説をもとに男神、女神、赤いカップ、青龍、白龍を

同じ天井に描くことにした。さらに昔から日本人が信じ、守られてきた神々を描いた。「右近の橘」「左近の桜」四隅には、「天の神」「地の神」「火の神」「風の神」を描いた。七福神、「恵比寿天」「大黒天」「福祿寿天」「寿老人天」「布袋天」「弁財天」「毘沙門天」も描いた。日本人の伝説の心をめぐる天井画を描いた。

他の枠には画柳会の米澤先生のご指導のもと、画柳会の精鋭の深い祈りのこもった画が次々に固めて入ってくれた。出品者（あいうえお順）

- 宇野 正子・江部具仁義・鹿島田一平・加藤 三夫・加藤 真愛・木田 和子・倉田 幸雄・小出 忠美・志村佳菜子・妹尾 一郎・妹尾志穂美・中田 恭子・新倉 泰子・馬場 泰二・森脇 直人・養田 薫・米澤 玲子

さらに、李朝の流れをくむ小林東五先生が大きな天井画に合う大きな印鑑を土からこねて、上り窯で焼いて作ってくださいました。中国より、本場の朱肉を書道家の綿引敬子さん、蓮華さん、そして鹿嶋田

一平さんが提供してくださいました。

ダイヤモンドの輸入販売のAP（株）の石田さんが10キャラット分のダイヤモンドの粉を「厄除け」にと提供され、絵の中に塗りこまれている。さらに昔むかしの日本は「神社一体」だったから「世のため祈る思いは同じ」だと、大阪から国分寺の合田管長様、総長の糟谷様が祈りを入れに来て下さった。長崎の大島造船所南会長と相談役深田様、ラオスに小学校を作られた児玉ご夫妻もナーサリ事業「ポピンズ」の副社長の森様もはるばる長崎まで祈りを重ねに行ってくださいました。アパホテル社長の元谷様からは「子供を守る力が波佐見から発信されますように」と電報をいただいた。

たくさんの祈りが集まった長崎の波佐見という町に寄られることがあれば、その神社に日本一祈りの深い良い「気」をたくさんに浴びてきてほしい。そして、仲良く、安全に、幸せな人生を伝えていって欲しい。

画柳会常任理事 中田恭子